

紫峰の風

shihou no kaze

筑波大学

University of Tsukuba

第23号 2022年2月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められています。



第45回秋季スポーツ・デー全体の様子

第45回秋季スポーツ・デーを終えて

こんにちは。第45代スポーツ・デー学生委員会委員長の田岡です。11月20日、21日に第45回秋季スポーツ・デーが開催されました。両日ともに天候に恵まれ、無事に成功させることができました。昨年度及び春のスポーツ・デーが中止となり、コロナウイルス感染症という大きな障害を乗り越えて実施できたことを嬉しく思います。

今回のスポーツ・デーでは正式種目、学生委員会企画、サークル企画において感染症対策を徹底して行い、参加者の皆様が安心してスポーツ・デーを楽しんで頂けるように準備をしてきました。そのため当日は人数制限や無観客、マスク着用など多くの規制がありましたが、ご協力いただいた参加者、学長はじめ開催に至るまでにご指示、ご教示いただいた運営関係者の皆様ありがとうございました。

—内容—

キャンパスニュース、課外活動団体一覧、	
学生相談室から、桐の葉日記	1頁
学生の一週間、1年間を振り返って、大学院進学報告、	
卒業式・入学式のご案内報告	2頁
特集、芸サ連、文サ連紹介	3頁
紫峰ギャラリー、全代会、体育会活動紹介	4頁

45代の任期は秋季スポーツ・デーをもって引退となりますが、来年度以降のスポーツ・デーを引継いでいく後輩には、更なる発展と活躍を願っています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

(寄稿/第45代スポーツ・デー学生委員会委員長 田岡佑基・エシス3年)

今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春季休業	2月18日～4月4日
同(東京キャンパス・夜間)	2月5日～4月4日
卒業式・大学院学位記授与式	3月25日
同(東京キャンパス・夜間)	3月26日
入学式	4月5日
新入生オリエンテーション(学群)	4月5～7日
新入生オリエンテーション(大学院)	4月5～7日
入学式(東京キャンパス・夜間)	4月9日
新入生オリエンテーション(東京キャンパス・夜間)	4月9日
新入生歓迎本祭	4月9日
授業開始(学群)	4月13日
授業開始(大学院)	4月13日
同(東京キャンパス・夜間)	4月12日
春季スポーツ・デー	5月14、15日(予定)

紫峰会基金に寄附してくださった皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の対策対応中にもかかわらず、多くのご寄附をいただきありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。現在課外活動は、通常通りの運営はままならないながらも、出来る限りの感染対策の徹底と注意喚起を講じながら精一杯取り組んでいます。今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

課外活動団体一同

キャンパスニュース

リーダー研修会

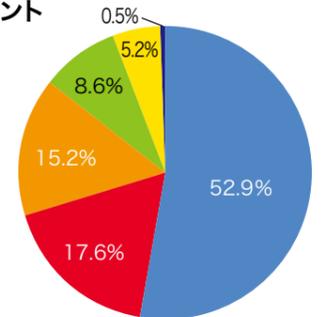
「課外活動団体リーダー研修会」(以後、リー研とする)は芸術系サークル連合会、文化系サークル連合会、体育会の、いわゆる「三系」からそれぞれ選出された実行委員により、それぞれの連合会の役割の周知や代表者同士の交流を目的として計画・実施されます。2021年度のリー研は、前年度に引き続きmanabaを用いたオンラインでの開催となりました。前年度と違い、動き出しの時点からオンラインでの開催が決まっていたため、予算や人員を抑えられるという利点を最大限に活かすためにできるだけコンパクトな形式の研修会を目指しました。そのため毎年行われていたプログラムである講演会の実施も見送ることとなり、参加者からは物足りなさを感じる声も上がりました。しかし一方で「忙しい時期の開催なので参加が負担にならない形式の方が望ましい。」「好きな時に受けることができ、少ない時間でできる。」などの意見もあり、今後のリー研がどのような形式を取るべきか、大きな分岐点に立たされていると感じます。今回のリー研では全代会とコラボレーションし、各

サークルに対して留学生の受け入れ体制の状況を調査するアンケートを行いました。このように、今後のリー研では従来のものにはなかった新たな試みも積極的に取り組んでいきたいと思っています。来年度以降の実施形態について、参加者に回答してもらったアンケートの結果から、過半数の52.9%がオンラインでの実施を求めていることがわかりました。2018年度までの実施形態である「宿泊を伴う対面での実施」は8.6%にとどまっているのに対して、「宿泊を伴わない対面での実施」が17.6%であることから、「オンラインでは研修としては不十分で団体間の交流の機会が欲しいが、規模が大きくなるのは避けたい」というニーズも多くあることが見て取れます。もちろん対面で実施する際には感染症への厳重な対策は必須となりますが、できるだけ参加者の声を拾い、より実態に沿った形態での実施及びコンテンツの充実を目指していきます。

(寄稿/2021年度課外活動団体リーダー研修会実行委員会委員長 釜菟亮 知識3年)

今後希望するリーダー研修会の実施形態について、以下から選んでください。のカウント

■ オンラインでの実施	52.9%
■ 宿泊を伴わない対面での実施	17.6%
■ 特に希望はない	15.2%
■ 宿泊を伴う対面での実施	8.6%
■ 来年度以降の実施を望まない	5.2%
■ 教室などを用いた、対面での1日のみの実施	0.5%



2021年度筑波大学体育会納会を終えて

今年度も昨年に引き続きオンラインで動画公開をするという形で体育会納会を今年1月に開催いたしました。大学関係者のみでの限定公開という形ではありますが、これまで先輩方が築かれた伝統をこのコロナ禍でも、形態は違えど行うことができ内心ほっとしています。活動が制限されている中でも、筑波大学体育会は今年も多くの団体が大会で優秀な成績を収めることができました。選手個人としての努力はもちろんですが、平素より皆様から支援・ご協力をいただいているからこそ日々の練習が行え、このような結果に結びついているのだと思います。本当にありがとうございます。動画内の私の挨拶の内容と被ってはしまうのですが、昨年一年間の満足に練習ができなかった状況での経験を活かし、どのように工夫をすれば普段の活動を行えるか考え、コロナ禍と

いう状況で制限が多く活動は難しいと納得するのではなく、その状況の中で最善を尽くし、もとの活動に戻そうと努力をしてきました。部としての活動で見れば、出場できる大会に制限があったり、例年行われていた大会が開催されなかったりと、満足のものではなかったかもしれません。しかしこれから先長い目で見れば私たちの年代だけが限られた状況でどのように動くことができるか、そのノウハウをすでに知っているとも言えます。このような貴重な経験は私たちにとってかけがえのないものになるはずで、体育会に限った話ではなく筑波大学のすべての団体は今後もこのような状況にも負けず活動を続けていくので今後ともご支援の程よろしくお願いたします。

(寄稿/第45代体育会執行委員会委員長 則安克美・エシス4年)



第45代体育会執行委員会委員長 則安克美



納会動画のオープニングの様子

食料支援事業

令和3年11月14日に市民団体「学生応援プロジェクトつくばPEACE」による食料支援が行われ、約500名弱が配布を受けました。また、令和3年11月25日、26日には平砂学生宿舎共用棟において、つくば機能植物イノベーション研究センターのT-PIRC農場で採れた新米5kg、サツマイモ1-2本の食料支援が行われ、914名が配布を受けました。

さらに、SMC(株)筑波技術センター様から防災食品入れ替えに伴い、入れ替え品の有効活用のため本学に寄附したいという申し出があり、令和4年1月31日と2月1日に平砂学生宿舎共用棟において食料支援を全代会主導のもと実施し、約1,100名の学生が防災食品の配布を受けました。

課外活動団体構成員数一覧

2022年1月現在

文化系サークル連合会		文芸部		人形劇団NEU		準硬式野球部		同好会	
団体名	構成員数(人)								
電気通信研究会	10	マジシャンズクラブ	8	ジャズ楽団 Neopolis BIGBAND	43	少林寺拳法部	4	剣道同好会	12
E.S.S.	10	漫画研究会	16	ピアノ愛好会	109	水泳部	53	サッカー同好会	77
池坊華道部	10	野外活動クラブ	43	ViCC-映画をつくる会-	18	スキー部	11	バスケットボール同好会	34
囲碁部	4	野生動物研究会	75	フォルクローレ愛好会	11	漕艇部	19	バドミントン同好会	166
宇宙工学研究会	7	歴史探訪会	10	競技ダンスサークル舞研	13	男子ソフトボール部	15	バレーボール同好会	37
映画研究部	11	Amusement Creators	22	ブロックフレテ同好会	2	女子ソフトボール部	25	フェアリースキークラブ	27
SF研究会アルビレオ	11	芸術系サークル連合会		邦楽部	30	体操部	12	ワンダーフォーゲルクラブ	58
園芸クラブ	10	団体名	構成員数(人)	ミュージカル集団ESSASSA	57	体操競技部	26	トランポリン同好会	31
海洋研究会	38	アカペラサークルDoo-Wop	118	落語研究会	10	卓球部	28	アルティメット同好会 INVER HOUSE	64
歌留多部	48	E.L.L.(筑波軽音楽協会)	87	体育会		ダンス部	24	医学	
斬桐舞	65	応援部WINS	50	団体名	構成員数(人)	トライアスロン部	24	医学アイスホッケー部	25
CLOVER ~難民と共に歩むユース団体~	14	合唱団むくどり	9	部会		軟式庭球部	18	医学弓道部	34
現代視覚文化研究会	57	管弦楽団	115	アーチェリー部	11	馬術部	19	医学剣道部	28
茶道同好会	11	ギター・マンドリン部	12	合気道部	14	男子バスケットボール部	55	医学硬式庭球部	58
茶道部和敬清寂社	23	劇団筑波小劇場	33	アイススケート部	7	女子バスケットボール部	21	医学ゴルフ部	65
社会福祉研究会	94	混声合唱団	27	男子アイスホッケー部	30	バドミントン部	36	医学サッカー部	47
写真部さくら組	13	ジャグリングサークルSheep	17	女子アイスホッケー部	17	男子バレーボール部	15	医学準硬式野球部	47
手話サークル	32	写真部	37	アメリカンフットボール部	31	女子バレーボール部	13	医学水泳部	95
将棋部	42	JAZZ愛好会	53	鹿島神流武道部	35	男子ハンドボール部	22	医学スキー部	30
囲碁部	46	書道部	30	空手道部	18	女子ハンドボール部	23	医学ソフトテニス部	19
ストーリーテリング研究会	7	吹奏楽団	51	弓道部	24	フィールドホッケー部	17	医学卓球部	50
T.A.S.C.	36	男声合唱団メンネルコール	5	剣道部	84	ライフセービング部	4	医学バスケットボール部	43
筑波大鉄研「旅と鉄道の会」	28	津軽三味線倶楽部無絃塾	39	硬式庭球部	38	ラグビー部	68	医学バドミントン部	110
つくば鳥人間の会	35	筑波音楽協会	58	硬式野球部	111	男子ラクロス部	31	医学バレーボール部	31
筑波文学の会	13	筑波能・狂言研究会	5	サイクリング部	51	陸上競技部	235	医学ハンドボール部	59
天文研究会	79	つくばフォーク村	65	蹴球部	157	オリエンテーリング部	29	医学ヨット部	10
TOJO K-ON	99	THK筑波放送協会	19	女子サッカー部	34	女子ラクロス部	14	医学ラグビー部	27
ねっしー・自然教育研究会	44	ときめき太鼓塾	13	柔道部	33			医学陸上競技部	77

学生相談室から

総合相談窓口 029-853-8430
学生相談受付 029-853-2415

変化への「適応」「再適応」

人間系 助教 田中崇恵

この長引くコロナ禍も3年目に入ろうとしています。その中で私たちは多くの変化に対応せざるをえない生活を送ってきました。特に学生の皆さんにとっては、いわゆる「キャンパスライフ」の変化の影響は大きく、対面授業の中止、部活やサークル活動の制限、友人たちとの飲み会や旅行などの自粛といった我慢の多い生活だったことでしょう。しかし、そのような中でも学生の皆さんは自ら考え、工夫を凝らし、その環境に適応しようと頑張ってきたと思います。開学以来初となるオンラインでの雙峰祭をはじめ、さまざまなサークルや団体がオンラインでも交流イベントを行い、新たな生活様式の中でも最大限、自分たちができる活動を行ってきました。保護者の皆様にも、そういったお子様の姿を見守りご支援をいただいていたことをありがたく思っております。

今はまたコロナの感染状況が落ち着いてきており(本記事が発行されるころにはまた状況が変わっているでしょうが)、対面授業が増えてきたり、学内でのイベントやサークル活動の制限が緩和されてきたりすることで、また人と会える、活動ができるという喜びや楽

しみが沸き上がってきているかもしれません。それ自体はもちろんいいことですが、今度はこれまで適応してきた環境がまた変化し、そこへ再適応しなければならぬという事態になります。

この再適応の状況においては、やっと慣れた環境がまた変わってしまうというストレスにより疲れてしまったり、これまでの制限からの解放感ややる気によって一生懸命になりすぎて調子を崩してしまったりということが起こります。自分たちは長い期間ずっと頑張っている状況にあるということ意識して、再適応の際にもリスクがあることを知っておくといいかもかもしれません。

今後もコロナの流行状況によって適応すべき環境が変わってくるという難しさを抱えており、「適応」「再適応」を繰り返していかなくてはならないことも予想されます。タフな状況は続きますが、そこから学べることもあるでしょうし、そして何より決して一人で頑張らなければならないということではありません。疲れてしまった、孤独や辛い状況でも頑張れないという学生の皆さんの傷つきや悲しみを安心して吐き出すことができ、ほっと癒せる場としても学生相談室が機能するよう努めてまいります。保護者の皆様もお子様の様子を温かく見守っていただき、ご心配の際には学生相談室や総合相談窓口をぜひご利用ください。

桐の葉日記

先日、玄関から出ると見慣れた風景は真っ白に染め上げられていました。もうすっかり陽は落ちてしまった頃、私はカメラを片手にすっかり雪化粧に身をつんだ筑波大学へ出かけました。電灯の光が白く反射して、普段より明るい夜の大学は静寂で不気味で美しくありました。ですが、静寂さにも慣れてしまった自分があります。昨年つくばの地に来てから今まで、大学は静寂な姿のままです。賑やかなキャンパスは見たことがありません。しかし、そんな物足りなさを覚える世の中でも、良かったことはあります。「大学院で海外派遣に行きたい」「もっと沢山のことが知りたい」と強い意志が芽生えました。これを読んでいる皆さんも同じように沢山の動機や目標が生まれた二年間だったのではないのでしょうか。とはいっても、卒業までに人が笑顔を見合わせて賑わうキャンパスの姿を一度見ることが私のちょっとした夢ではあります。そんな日が来ることを願っています。(文責/全代会広報委員 佐藤翔哉・物理2年)

LINE 筑波大学通信
公式アカウント
在学生の保護者向けの情報をお届け!
友だち→友だち追加→QRコードを選択し、カメラで右のQRコードを読み込む



大学の風景 ～秋編～



ひっそり賑やかに

学生の一週間

学群1年生と前期課程2年生を例に挙げ、筑波大生がどのような生活を送っているのかを紹介します。また、学年によって、授業や生活に違いはあるのか、是非、注目してみてください。

学群1年 Yさん 秋学期Bモジュール(11月)

生物学類に所属する1年生のYさんはたくさんの授業を履修しています。平日は課題や自由時間その他に2つの部活に参加し、休みの日には部活やアルバイトをして充実した生活を送っています。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	移動時間 (読書等)
8	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	自由時間	課題・自由時間	アルバイト
9					自由時間		
10	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	
11	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	
12	昼食	対面授業	クラスセミナー 対面	対面授業	対面授業	自由時間	風呂(バイト先の旅館にて)
13	課題・家事・ 自由時間						
14	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	移動時間 (昼食・読書等)
15	オンライン授業	課題・自由時間	オンライン授業	オンライン授業	対面実験	自由時間	家事・課題・ 自由時間
16							
17	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
18	夕食	部活	部活	部活	しばしば実験が 延長	課題・家事・ 自由時間	買い物
19	自由時間						
20	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
21	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
22	風呂	課題・家事・ 自由時間	課題・家事・ 自由時間	課題・家事・ 自由時間	家事・自由時間	風呂	課題・家事・ 自由時間
23	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
24	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
1	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
3	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
4	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠

前期課程2年 Rさん 秋学期Bモジュール(11月)

現代文化学サブプログラムに所属しているRさんは日々の授業や論文執筆を通し、好奇心が満たされる充実した日を送っています。また、バイトや教会で人々との交流を楽しみつつ、趣味である読書で1人の時間も大切にしています。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度	朝食・身支度
8	論文執筆・ 授業の予習	朝食・身支度	朝食・身支度	論文執筆・ 授業の予習	論文執筆・ 授業の予習	バイト	教会
9		オンライン授業	オンライン授業	論文執筆・ 授業の予習	論文執筆・ 授業の予習		
10	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
11	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
12	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
13	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
14	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
15	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
16	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
17	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
18	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
19	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
20	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
21	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
22	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
23	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
24	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
1	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
2	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
3	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
4	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間

1年間を振り返って

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

令和3年度 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議議長 森本ひのき (情報学群知識情報・図書館学類2年)



令和3年度全代会は「学生の意見をより多く取り入れる窓口設置」を目標として活動を行ってきました。この目標について、概ね実現することができました。これは今までやってきたことを見直し改善したことに加え、今まで対応できていなかったことに対応したためです。常時学生の意見を受け付けている教育生活環境調査を昨年度より頻りに配布したり、留学生と交流会を行ったり、多くの留学生が抱える問題を解消するように動いたり、全代会という組織を知ってもらった活動を行ったりしました。このように、既存の窓口を拡大するとともに新たな窓口を設置することができました。一方で、窓口設置はできたものの、そこから学生の意見を多く取り入れることには至っておりません。これは窓口に対する広報不足や全代会という組織に対する学生からの関心を集められていないことが原因であると考えています。今後はこれらの課題を解決し、多くの学生の意見を取り入れていけるように活動していく所存です。

全代会は今後もより良い大学を創るために活動していきます。今後とも全代会をよろしく願いいたします。

文化系サークル連合会

第46期文化系サークル連合会運営委員長 鷗田佐季 (芸術専門学群2年)



文化系サークル連合会(以下、文サ連)第46期運営委員長の鷗田佐季と申します。文サ連は課外活動団体の円滑な運営のために様々な面から所属団体を支援している組織です。新型コロナウイルス収束の兆しが未だ見えぬ中、今年度の文サ連は業務のほぼ全てをオンライン上に移行し活動して参りました。従来の体制から大きく変化せざるを得ない状況の中で、我々今年度役員の運営が常に手探り状態であったことは否めません。一方、団体協議会や会議室予約のオンライン化などオンラインツールを駆使することで業務の大幅な効率化を達成することができました。これらの変革はコロナ禍以降の文サ連の運営にも影響を与える記念すべき業績だと思われまふ。また、コロナ禍で立ち消えていた三系会議が再開されるなど外部組織との連携もますます盛んになっております。今年度の活動を踏まえ、文サ連役員一同はこれからも筑波大学の文化活動のさらなる隆盛のため尽力いたします。最後になりましたが、一年を通して多大なるご支援をいただいた学生生活課、紫峰会基金の運営に携わった方々をはじめ、三系、全代会等文サ連の活動に関わる全ての方々に御礼申し上げます。今後とも文サ連をどうぞよろしく願いいたします。

芸術系サークル連合会

第45期芸術系サークル連合会運営委員長 高橋星花 (人文・文化学群人文学類2年)



平素より大変お世話になっております。第45期芸術系サークル連合会運営委員長の高橋星花と申します。私たちのサークル活動へのたくさんのご支援、ご理解、ご協力、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、前年同様、どのサークルも活動の見通しが立たない、活動場所が使えなくなり集まることができないなど、活動に多くの困難がありました。芸術系サークル連合会の所属団体には、例年通りの新歓活動ができず、サークルに所属する人数が減り、運営が大変であったサークルも見られました。「自由」な活動には程遠いと感じる人も多い1年だったことと思います。オンラインでの会議、メールでのやり取りなど、芸サ連の所属団体の皆さんとお会いしてお話する機会が少なく、どれほど所属団体の皆さんのお力になれたのか、未だに結論は出ておりません。

しかし、人と人との対面での交流が希薄になった中でも、各所属団体は創意工夫し、活動を続けて参りました。できないことに悩まされながらも、今できることを精一杯行い、次世代につなげていく姿勢を、所属団体の皆さんから感じました。前年より、オンラインでの活動に慣れ、様々な挑戦もあったかと思ひます。芸サ連といたしましても、この状況の下で「新しい時代」が始まるうとして、そんな予感を感じる1年でもありました。

オンラインではどうしても人との距離感を感じてしまう中、このように各所属団体がいきいきと活動できましたのも、多大なる温かいご支援のおかげでございます。誠にありがとうございました。新たな変異株も発生し、未だ安心はできない状況ではございますが、芸サ連も新たな面々で、サークル活動を支えるために始動いたします。芸サ連の挑戦はまだまだ続いています。どうぞ今後ともお力添え頂けますと幸いです。

体育会執行委員会

第45代体育会執行委員長 則安克美 (理工学群工学システム学類4年)



平素からお世話になっております。第45代体育会執行委員会委員長の則安克美と申します。皆様からのたくさんのご支援、ご理解とご協力のおかげで私たちはスポーツに打ち込むことができいております。本当にありがとうございます。

今年も昨年から引き続き新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限された中での組織の運営となりました。コロナ禍での生活に慣れてきたとはいえ、顔を合わせない状態での活動を充実したものにするのは難しく苦勞の多い年間だったと思ひます。苦勞は多いといえど、今のメンバーと試行錯誤しながら活動形態を模索した貴重な経験は私にとつてかけがえのない財産になったと思ひます。信頼できるメンバーだけに、大学2年生の間までのかつての日常を知る身としては例年通り顔を合わせての活動ができていれば思い出深い活動になったと思うだけに、このような状況が残念でなりません。そしてこれから次の代へとバトンタッチしていきますが、対面での活動を知らない世代が主導で運営を行うこととなります。すべての団体に言えることですが、コロナ禍が収まった時スムーズに従来の活動形態に移行できるかが今後の課題になるはずで、多くの方々にサポートしていただいた分、次は私もサポートする側として今後の活動を見守っていこうと思ひます。一年間本当にありがとうございました。今後ともご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

大学院進学報告



**理工学群
応用理工学類 4年**
高見沢仙美

本稿では私が大学院に進学することとした理由とともに、試験を受けるにあたって、研究活動を通して学んだことについてお話しします。

■進学予定の学術院/研究群/学位プログラム

理工情報生命学術院/数理物質科学研究群/国際マテリアルズイノベーション学位プログラム

■大学院進学理由

大学卒業後の進路について、3年次に大学院進学が就職かであったことがありました。その時は外出自粛期間の只中であり、先行き不透明な景気の影響から就職は厳しい選択だと感じていたが、それでも先の見えないなか勉学を続けることに決意がなっていました。しかしインターネット等で就職・大学院進学のメリット・デメリットを調べ、家族とも何度も話し合った上で、企業の動向の様子見を兼ね、就職活動だけでなくそれ以後の将来においても役立つスキルや教養を学びたい、という動機のもと大学院への進学を決めました。

国際マテリアルズイノベーション学位プログラムを出願先に選択した経緯については、英語での授業・発表の機会を多く経験できることを魅力的に感じたためです。昨年2月より配属された研究室では、超短パルスレーザーから生じる光を物質に照射することで生じる、1兆分の1秒程度といった非常に短い時間スケールの現象の検出・解析が行われており、研究活動に真摯に向き合う先輩方や指導教員の先生方の姿を目のあたりにし、大学院を見据えて取り組みたいと感じたため、進学への意欲が高まりました。

■試験を受けるにあたって

研究計画書の提出と、研究内容と計画についてのプレゼンテーシ

ョン・質疑応答の2段階選抜の試験でした。研究活動歴が浅く右も左も分からない状態の私に対し、先生・先輩方には厚いご指導・ご協力を頂き、合格を掴むことができました。この場を借りて感謝申し上げます。

■研究活動を通して学んだこと

ただ文献の読解・勉強に取り組むのではなく、自分が研究対象についてどこまで理解しており、どこから分からないかについて整理して理解の状況を明確に伝えるよう試みながら、先生や先輩方からアドバイスを受けて進めていくことが大切だと感じました。研究成果の発表においても相手の立場に立ってわかりやすく伝えるために、視覚的情報や主張の構成の仕方をその都度学んでいます。

卒業論文などの執筆においては、解析や考察のための知識や考え方は一朝一夕では身につかないということを痛感したので、進学後は弛まず倦まず研究活動に励んでいきたいです。またこれまで家族には多くの負担や心配をかけてしまいましたが、自分の選択した道を応援して貰えることに感謝して大学院生活を送っていきたくと思います。



レーザーを使った光学系の実験装置

のし合いなどを通してメンタルヘルスを保つだけでなく、所属している課外活動団体の活動にもできるだけ参加し、運動や交流を通して緊張をほぐしていました。

来年度以降大学院受験を検討している方々にも、入念な試験準備はもちろん心と体の健康を保つことも忘れず大切にしてほしいです。

■研究活動を通して学んだこと

研究活動の一環として作品制作があります。これは目に見えて各々の進度や良し悪しが分かってしまい、かつ、鋼の精神を持ち合わせていない限り何事においても隣の芝生は青く見えるものです。生憎私は一般的な強度のメンタルの持ち主ですので、事あるごとに他人と自分を比べ、己の表現力や描画力の拙さに落ち込むことが多々ありました。しかし、それら良くはなく見える部分と共に「自分らしさ」や「自分だからできる表現」も表裏一体で存在しているのだと感じます。いかにそれらを愛し、育てていけるか。そういった身の振り方がこれからの伸びや発展につながるのだと思います。

また、研究活動において終点は明確には見えず、これを坦々と一人で戦うのは厳しいものがあります。教員や同期の仲間たち、先輩後輩など多くの支えがあってこそ走り抜けるものです。そういった存在を大切にしつつ、自身も誰かにとってそういった存在でいられるよう今後も精進して参りたいと思います。



作品制作の様子



芸術専門学群 4年
河原井かれん

本稿では私が大学院に進学することとした理由とともに、試験を受けるにあたって、研究活動を通して学んだことについてお話しします。

■進学予定の学術院/研究群/学位プログラム

人間総合科学学術院/人間総合科学研究群/芸術学学位プログラム

■大学院進学理由

私は学群では主として日本画を専攻しており、大学院でも引き続き日本画について学びたいと考えております。

「日本画」と聞くと、多くの方は浮世絵や水墨画などを想像なさるかと思いますが、単語としては西洋画と区別するために明治時代に生まれたものであるため、実際のところ「日本画」というジャンルが確立されてからの歴史というのは意外と浅いのです。しかし、単語ができる以前から日本画自体は存在していますので、それに伴い日本画とは一体何か、という問いが回ります。日本画材を用い、伝統的な技法で描けば日本画なのか、日本人が描けば日本画なのか、日本人の感性で描けば日本画なのか。

自身の表したいものを表現しうるだけの技術の向上をめざすことももちろん、日本画やそもそ美術の何たるかの考えも深めるべく大学院では研究に励んで参ります。

■試験を受けるにあたって

試験内容は当日の実技試験、面接とともに2作品の持ち込みがありましたので、かなり長い準備期間が必要でした。実技試験の技能にも言えることですが、技術や作品は一朝一夕で完成するものではありませんしゴールがあるわけでもありませんので、ひたすら根気強く作業・準備を続けました。

そう致しますと身体だけでなく精神面にも疲労がたまります。私の場合は共に院試に向け準備する友人たちとの会話やアドバイス

医学部会執行委員会

第45代体育会執行委員会医学局長 菅江泰有
(医学群医学類2年)



医学系の部活は2021年10月までコロナウイルス感染拡大防止のため部活動の自粛をしていたため、2021年度の活動期間はわずか2か月ほどでした。参加対象者はワクチン接種を2回摂取している学生のみとし、各部活がソーシャルディスタンスと身体接触の2要因から活動計画書を作成し、大学に提出して承認をもらうことで活動を行うことが出来ました。

すでに東医体をはじめとした大会も中止となり、悔しい思いをした人も大勢いましたが、部活動を行えることで、多少なりとも日々の日常に活気が戻ったと感じている人も多くいます。特に、2年生はようやく部活に所属することができるようになり、部活での同期、先輩をはじめとした人脈が広がったことは大学生活において大きな進展になったのではないかと思います。

しかし1月に入り再びコロナウイルスが流行してきています。課外活動の制限は再び厳しくなり、冬期の東医体も中止になりました。学生一人一人が医学医療系の一員としての自覚を持ち良識ある行動をとることを一層心掛けていくことが重要になってきました。先が見えない戦いが続いていくことには思いますが、医学執行委員会も精進していきますので今後ともお力添えいただけますと幸いです。

令和3年度 筑波大学卒業式のご案内

- 日時 令和4年3月25日(金)
- 会場 筑波大学 大会会館(講堂ほか)
- 【第1回】9:30~10:15(開場:8:50)
対象組織:人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、理工学群、理療科教員養成施設
- 【第2回】11:30~12:15(開場:10:50)
対象組織:生命環境学群、情報学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群

令和3年度 筑波大学大学院学位記授与式のご案内

- 日時 令和4年3月25日(金)
- 会場 筑波大学 大会会館(講堂ほか)
- 【第1回】13:30~14:15(開場:12:50)
対象組織:人文社会ビジネス科学学術院、人間総合科学学術院、教育研究科、人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科、図書館情報メディア研究科
- 【第2回】15:30~16:15(開場:14:50)
対象組織:理工情報生命学術院、数理物質科学研究科、生命環境科学研究科、システム情報工学研究科、グローバル教育院

令和4年度 筑波大学入学式のご案内

- 日時 令和4年4月5日(火)
- 会場 筑波大学 大会会館(講堂ほか)
- 【第1回】9:30~9:55(開場:8:50)
対象組織:人文・文化学群、社会・国際学群、生命環境学群、理工学群、情報学群、理療科教員養成施設
- 【第2回】11:30~11:55(開場:10:50)
対象組織:人間学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群、総合学域群

令和4年度 筑波大学大学院入学式のご案内

- 日時 令和4年4月5日(火)
- 会場 筑波大学 大会会館(講堂ほか)
- 【第1回】13:30~13:55(開場:12:50)
対象組織:人文社会ビジネス科学学術院、人間総合科学学術院
- 【第2回】15:30~15:55(開場:14:50)
対象組織:理工情報生命学術院、グローバル教育院

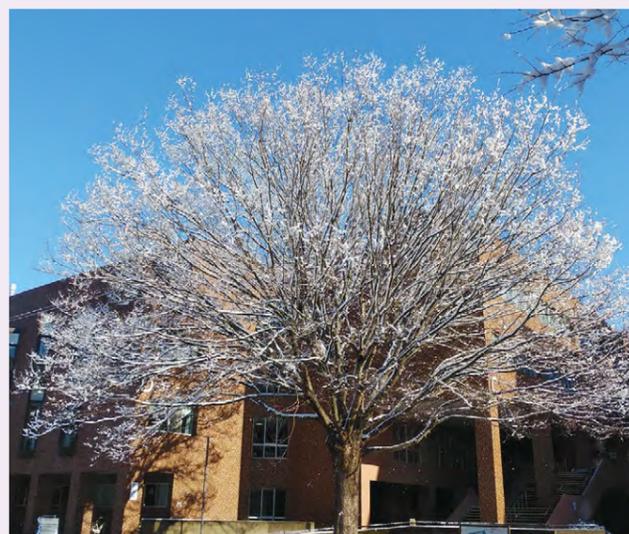
※式の時間については予定時刻となっております。進行の都合上、変更となる場合がございますので、ご了承ください。

卒業式・大学院学位記授与式、入学式・大学院入学式 共通連絡事項

- *式典の出席者は卒業生・修士生のみ、新入生のみとさせていただきます。
- *新型コロナウイルス感染症対策として、ご家族等のみなさまは、ライブ配信をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。
- *開催方法等については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ変更する可能性があります。最新情報や詳細については、筑波大学基幹サイト(ホームページ)にてご確認ください。
- <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/calendar-ceremony/>
- 問い合わせ先:筑波大学総務部総務課 029-853-2025(平日9:00-17:00)



大学の風景 ~冬編~



授業開始とともに初雪

紫峰の風 第23号 2022年2月発行
発行 事業開発推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議
(菟場広翔・知識2年、佐藤翔哉・物理2年、村松翔・工シス3年、内田小稀・資源2年、中嶋梨花・資源3年、梁安吉子・人社群人文P2年、小林桃子・比文2年、角達之介・医学3年)
広報部会
(河原井かれん・芸専4年、高見沢仙美・応理4年、村松真緒・社会3年)

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
電話:029-853-5886 E-mail:gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp
筑波大学紫峰会基金WEBサイト
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら
E-mail:renkei@un.tsukuba.ac.jp 電話:029-853-2030
本号について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

本学のコロナウイルス対応

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス蔓延の影響で、授業形態や課外活動が不規則なものとなりました。

2020年から2021年にかけての新型コロナウイルス感染症への対応の中から学生支援や整備環境等について

「筑波大学統合報告書2021」（2021年10月発行）より抜粋してお伝えします。

オンライン授業

2020年度春学期はオンライン授業が実施され、秋学期は十分な感染対策を講じながら一部科目で対面授業が再開されました。感染拡大の状況を見据えつつ、対面の方が教育効果の高い授業については教室が確保できれば対面で実施されました。

また、オンライン授業の円滑な準備・実施のため、学術情報メディアセンターのサイトに教員及び学生向けのポータルサイトが開設されました。オンライン授業の環境への接続設定や利用方法への問い合わせに対応するため専門的知識を有した人が配置され、教員及び学生の支援が行われました。障害のある学生が遠隔授業を受講する際の課題や対応方法についてまとめたガイドラインが2020年4月に全教育組織に周知されました。

施設、情報環境施設の対応

教育研究活動再開に向けて、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、換気設備の充実(145カ所設置)やトイレ改修(8棟)などの施設整備を実施しました。また、全学計算機システムのリモートデスクトップ環境やVPNサービスの同時接続数の増強により、学生の授業や自習、在宅勤務で業務を行う教職員の利便性を高めるなどの対策を実施しました。

コロナ禍における学生の声

様々な活動が制限される中、学生はどのような環境や心境で大学生活を送っているのでしょうか。
体育会の部活動に所属している学生にそれぞれ話を聞きました。

私の履修した授業は2年次になっても、ほとんどがオンラインでの実施でした。1年次の時は、コンテンツの使い方も課題のこなし方も分からず、また頼れる友人もいなかったので辛く感じることもありました。しかし2年次になってからは、ある程度オンラインでの講義にも慣れ、その利点も享受できるようになりました。ただ、同じ空間で先生の話の聞いたり、友人と話し合いをしたと思う科目がいくつもあったので、コロナの状況を見極めつつ、来年度からはオンラインの科目と並行して、対面の科目も受けられることを希望しています。

また私の所属する体育会の団体では、試合の日程が大きく延期されたり、いくつもの大会が中止になったりと、例年通りの活動というわけにはいきませんでした。そのために、部員同士で話し合って年間のスケジュールを組みなおしたり、練習の負荷を調節したり、目標を何度も設定し直したりと、自分達にとって最も良い活動とは何かを模索し続けた日々でした。

今後どのような状況になるかは全く見通しがつきませんが、柔軟に適應しながら、より充実した大学生活が送れるように考え続ける日々を送りたいです。

(比較文化学類2年Kさん)

部活動やサークルが長期間に渡って活動停止になってしまったことでモチベーションを保つのが難しく、再開後もアクティブメンバーが大幅に減ってしまい運営が大変になってしまいました。

(医学類3年Sさん)



学生支援

オンライン授業や在宅勤務の実施に伴う情報環境整備、空調、換気設備の整備、学生への緊急経済支援、感染防止対策の強化等を実施するため、寄附金や国からの補助金等が活用されるほか、学内予算において新型コロナウイルス感染症等経費予算編成されました。

また、2020年5～6月にかけて、仕送り、アルバイト等の減少により困窮する学生のため、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」の新設や、クラウドファンディングが実施されました。

そして2021年1月・2月には、「学生のための食料支援事業」が企画され、地元企業や卒業生から総量約30トンの物資が約4,700人の学生に贈られました。

学生支援アプリの導入について

2021年3月からコロナ禍におけるコミュニケーションツールとして、本学学生向けに「学生支援アプリ」の提供を開始しました。

このアプリは生活向上支援のための「Ciby Link」と情報交換支援のための「Life Link」の2つの機能を有しています。

「Ciby Link」では、学生が抱えると想定される様々な思いがカテゴリー化されており、該当する項目を選択していくと本学心理学域教員の監修の下に用意されたアドバイスが得られます。

「Life Link」は、互いに連絡先を明かさずに、共通の話題についてテキストでの情報交換を可能にするものです。

2021年9月時点で延べ約970人が利用登録しており、多くの学生からアドバイスが参考になったという声が寄せられています。

芸術系サークル連合会活動紹介

合唱団むくどり



定期コンサートの様子 2021年10月23日撮影

合唱団むくどりは、合唱を楽しむことをモットーに、週3回活動を行っています。

今年も感染症対策のため、適切な換気などをしながら練習を行いました。例年通りにいかないこともまだまだ多く、夏休みの合宿が行えないなど、思ったように歌うことができない場面も多々ありました。

そんな中でも、ホールでお客様を入れずに定期コンサートを行うことで本番のステージを用意し、録画することで、直接は難しくとも私たちが歌っている姿を動画で届けようとしております。双峰祭でもオンラインコンサートを行うなど、活動が限られた中でも、ステージで団員全員で歌うことを大切にしてきました。

これからも、できる限り多く歌う機会が得られるよう、工夫して活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

(寄稿/合唱団むくどり団長 建部有香・日3年)

筑波大学ジャズ楽団Neopolis BIGBAND



2021年団体クリスマス会 2021年12月25日撮影

こんにちは。私たちは筑波大学ジャズ楽団Neopolis BIGBANDです。平成27年にT-ACT(つくばアクションプロジェクト)に認定された団体、「筑波大学 BIGBAND PROJECT」を前身にした、芸術系サークル連合会の中では新しい団体です。筑波大学の中で、サクソやトランペット、トロンボーンやリズムセクションからなるビッグバンドジャズという形態の音楽が出来る唯一のサークルです。

例年行っていた学祭や地域の祭りでの演奏機会が減ってしまった今年度は、活動を充実させるために団内でのイベントを企画しました。夏にはサマーコンサートを行いました。写真は、年末に行った団内イベント、クリスマス会の様子です。ビッグバンド曲の演奏をした他、メンバーが自由にバンドを組み、演奏を披露しました。現在は2月23日にノバホールで行われる5th RECITALに向けて練習を行っています。

(寄稿/Neopolis BIGBAND運営委員 本間優季江・比文3年)

ブロックフレーテ同好会

こんにちは、筑波大学ブロックフレーテ同好会です。はじめて聞いたという方は、この機会にぜひ名前を覚えてくださると嬉しいです。私たちは、リコーダーを演奏するサークルです。ジャンルは問わず、幅広く好きなものを好きなように演奏しています。例年は双峰祭に参加したり、内部でコンサートを開いたりもしていました。お気づきの方もいると思いますが、あくまでこれは例年の話です。今年度の活動はそのようにうまくはいきませんでした。

原因はやはりコロナです。コロナウイルスの影響が出たのは、主に以下の2点です。1点目は、新歓活動の規模縮小による新規メンバー不足です。2点目は、オンライン双峰祭に向けた動画収録日程の確保不可です。具体的には、新規メンバー不足の結果、計3人しかメンバーがいない状況です。それにより演奏できる曲の範囲も狭まると共に、会計や運営委員、責任者といった役職を掛け持つかない状況に陥っています。団体の存続すらも危ぶまれる状況です。そんな中活動規模を縮小してでも、双峰祭に向け練習を重ねてきました。しかし、1日目の収録を終えた夜、茨城県非常事態宣言が発令され、その影響で収録は延期、宣言が明けた時点では、残り少ない動画提出期限に収録は間に合いませんでした。そして、残念ながら双峰祭への参加は見送ることとなりました。

しかしながら現在は、練習した成果を無駄にしないため、どこかで動画を撮りサークルのYouTubeに上げたいと考えています。コロナの収束を祈りながら、来年の新歓に励み、団体を存続させたいと画策しています。これからも応援をどうぞよろしくお願いいたします。

(寄稿/ブロックフレーテ同好会副会長 保龍児・情報3年)

応援部WINS



アメリカンフットボール部応援の様子 2021年11月20日撮影

木枯らしが冬の訪れを告げる今日この頃、大学構内の木々もすっかり葉を落とし、物寂しさを感じずにはいられません。

そんな季節の移ろいとは裏腹に活気を取り戻しつつあるのが、我々応援部WINSです。11月には久しぶりに対面での応援活動を再開し、体育会応援、及びイベントでのパフォーマンス披露をそれぞれ2度行いました。

また、先日行われた双峰祭では動画形式にてパフォーマンスを披露し、【双峰祭グランプリ一般企画部門 優秀賞】を受賞しました。我々を評価して下さる方々への感謝と、応援ができる喜びを胸に、部員一同日々活動しております。

今後も筑波大学に元気と明るさをお届けするべく、鋭意先進活動に取り組んで参りますので、引き続き応援部WINSをよろしくお願いいたします。

(寄稿/応援部WINS主将 佐藤悠多・人文3年)

文化系サークル連合会活動紹介

AmusementCreators



コミケでの販売の様子 2019年12月28日撮影

AmusementCreatorsはゲーム制作を中心に活動を行っている団体です。毎週水曜日18:30~より情報科学類ラウンジでミーティング活動を行っています。(ただし新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、Discordでのオンライン開催となる場合があります。)

普段はプログラミングによるゲーム制作や、それに加えてゲーム用の絵を書く、ゲーム用の音楽を作る等のゲーム制作に関する幅広い内容を行っています。また弊サークルオリジナルのゲームエンジンAltseed2の開発も行っています。

弊団体ではプログラミング初心者でもゲーム制作がスムーズに行えるように、新歓最後の行事としてシューティングゲーム作成のチュートリアルの実施をしています。長期休暇中はゲームを集中的に開発する行事として、ゲームジャムを企画しています。制作したゲームはコミックマーケットや双峰祭などで頒布しています。

(寄稿/AmusementCreators会長 遠藤匠・情報3年)

野生動物研究会



つくば市内の河川で採集を行う部員 2021年4月21日撮影

私たち野生動物研究会(通称:やどけん)では主に野生動物の採集や観察等の個人が行う活動や、毎週水曜日に文化系サークル会館(通称:文サ)に集まって活動報告や情報交換をするミーティングなどの活動を行っています。ミーティングはzoomでも開催されるのでオンラインでも参加することができます。また、過去には年に3回の合宿がありました。合宿では主に南西諸島の離島などに行き野生動物の観察・採集などを行っていました。現在はこの合宿の代替活動として「やどけんフォトコンテスト」を年に二回行っています。フォトコンテストは「陸」「空」「水」「風景」の四部門に分けられており、どの部門にも多くの魅力的な作品が応募されます。

やどけんのメンバーには魚好き鳥好き虫好き爬虫類好き…はたまた古生物好きなど個性豊かな人がたくさんいます。このような人々に囲まれ活動することで自分の知らなかった生き物の新たな知見を得ることができ、お互いがお互いの知的好奇心をくすぐる刺激的なサークルです。

(寄稿/野生動物研究会会長 来間太郎・生物2年)

将棋部



対局の様子 2021年12月3日撮影

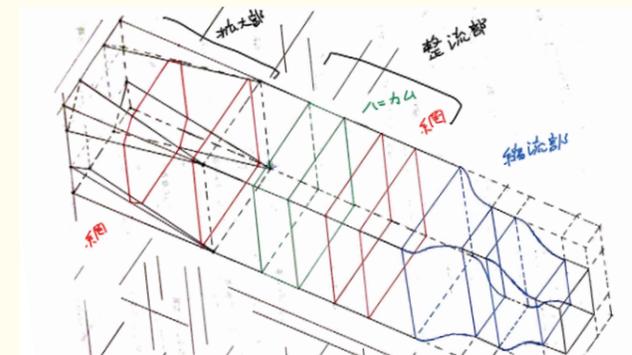
将棋部では、毎週月、水、金曜日に文化系サークル会館一階にて活動を行っています。主な活動内容は、部員同士で対局を行う、自身の戦法を研究するといった部内での活動の他、他大学との練習試合や、地域の小中学生を対象に将棋教室や将棋大会を開催するなど、大学外での活動も積極的に行っています。

メンバーは、高段者から級位者、初心者など棋力は様々ですが、総勢30名程度が所属しており、春秋に開催される関東学生将棋連盟が主催の、学生将棋大会の個人戦および団体戦に向けて、よりよい成績を残すことを目標に切磋琢磨しながら研鑽を積んでいます。

昨年から新型コロナウイルスの影響などで制限されている活動も多くありますが、部員一同、今後も実力向上に努めて参りますので、応援のほどをよろしくお願いいたします。

(寄稿/将棋部部長 宮下春樹・地球2年)

宇宙工学研究会



風洞 2021年10月14日撮影

宇宙工学研究会では、工学全般を対象に、会員各自が取り組みたい活動を自由に行っています。主な内容は、ロボットや機械、実験装置の製作や、それに付随する勉強などです。個人での活動の一方で、全体的な活動としては、月一回の頻度で対面でのミーティングを行っています。そこでは、各人がその月に取り組んだ内容を全体に共有しているほか、各人の活動での問題について話し合うことにより、知識や技術の交換や、会員間の交流を図っています。

会員の最近の活動の一例としては、風洞の製作が挙げられます(画像は初期イメージです)。他にも、展示会などのイベントへの出品や、大会への出場を目標に、作品やロボットの製作に取り組んでいる会員もいます。今後も引き続き、工学的な知識や技術の習得および習熟を目指していきたいと思っています。

(寄稿/宇宙工学研究会会長 國分潤・エシス2年)

紫峰ギャラリー

ラグビー部

関東大学対抗戦
6位(8校中)
明治大学戦の様子



男子ラクロス部

東京農業大学との
練習試合の様子

女子バドミントン部

全日本学生バドミントン
選手権大会にて
女子ダブルス 準決勝の様子

大石悠生(体育3年)
長廻真知(体育1年)
準優勝



サイクリング部

筑波8時間耐久レース
計7チーム出場
最高成績チーム
A-1班 P4部門 2位



全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

○第1回意見聴取会・第4回本会議

全代会では、10月6日に第1回意見聴取会、10月13日に第4回本会議を行いました。取り扱った議題は『令和3年度学園祭実行計画書追加提出分に関する要請』です。また、意見聴取会というのは、本会議当日の進行を円滑に行うために事前に意見交換が必要であると判断された場合に対し開催される会議となります。今回の意見聴取会・第4回本会議では主に学園祭実行計画書等の内容に関する審議が行われました。初となるオンラインでの学園祭実行計画ということもあり、企画の配信方法やその管理などに対する質問が多く寄せられました。そして採決の結果、全会一致で議題は可決されました。その後、11月6日、7日に第47回雙峰祭がオンラインで開催され、大きな混乱もなく無事に終了しました。オンラインでの開催という初の試みを成功させた令和3年度学園祭実行委員の皆様のご努力に、改めて感謝申し上げます。

○副学長等と全代会構成員との懇談会

12月1日には、副学長をはじめとする教職員の方々と全代会構成員の懇談会(以下、副学懇)が開催されました。懇談会では全代会から『今後の福利厚生事業について』『コロナ禍後の授業形態について』の2つの話題を提示し、これらについて意見交換をしました。前者については、福利厚生事業が撤退していく中で、今後よりよい福利厚生の提供のためにどのようなシステムや意識改革が必要か話し合い、現在の福利厚生委員会学生委員の任期変更や福利厚生委員会の活性化が提案されました。また、後者の話題に関しましては、来年度以降の授業形態に対する大学側の方針を尋ね、学生の今後の授業形態・環境に対する意見を副学長にお伝えしました。学

生と副学長が顔を合わせて活発な意見交換ができ、大変有意義な時間となりました。

○第5回本会議

12月8日には、第5回本会議が開催されました。取り扱った議題は『学園祭学生分担金の額及び納入方法について』『学生宿舎の暖房設備・ネットワーク環境について』『福利厚生委員会の学生委員の任期改定と選出時期の設定の要望について』の3つとなります。2つ目の議題では、学生宿舎の暖房稼働時間の見直しや暖房器具持ち込み規程の見直し、宿舎内のネットワーク接続改善について調査結果をもとに議論が展開されました。また、3つ目の議題に関しましては、副学懇で提案された福利厚生委員会学生委員の任期や選出規程の見直しについて全代会の意見をまとめました。採決の結果、すべての議題が承認多数で可決されました。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
副議長 佐藤翔哉・物理2年)



12月1日開催の副学長等と全代会構成員との懇談会の様子

総務委員会

全代会運営一般を担う委員会、大別して事務部門と情報部門の2つの枠組みがあります。事務部門は議長団をはじめとする全代会構成員の活動の補佐をしており、会議資料の配布、各委員会のミーティングに必要な教室の申請や活動に必要な物品の申請等、全代会の運営に関わる庶務を担当しています。本年度の本会議では、対面開催とオンライン開催の両方のメリットを生かすための方法が検討され、これをハイブリッドで開催するための準備を行いました。情報部門は全代会に関する情報関係を担当しています。大学が所有・管理しているサーバ群のうちの1つであるSTBサーバを利用する課外活動団体と、大学との間を取り持つWebページ学生委員会への派遣業務や、全代会の活動内容を外部に報告するための全代会HPの管理、全代会構成員同士の連絡ツールTeamsやメールの

管理、PCトラブル対応やネットワーク構築といった環境整備などに取り組んでいます。また、活動をより円滑にするため、議事録や過去資料の閲覧のための新しいシステムであるESAの導入を進めています。

2021年度も、引き続きコロナ禍の特殊な大学生活の中での活動となりました。全代会での活動も前例のないものが多くあります。先の見通せない情勢下ではありますが、どのような状況でも全代会の組織がスムーズに活躍できるよう、今後も尽力して参りたいと考えております。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
総務委員長 荒金志紀・社工2年)

新入生歓迎特別委員会

新入生歓迎特別委員会は学内における新入生歓迎時期特有の諸問題に関して対処すること、また、各学群・学類等での新入生の歓迎に際し、確実かつ統一された情報の提供を行うことを目的に2021年6月に設立された特別委員会です。毎年同様の目的で特別委員会が設立されており、2021年度設立の新入生歓迎特別委員会の任期は2022年度5月を予定しています。今年度は学類や学年の垣根を超えて11名の委員が活動しており、オンラインでの業務が中心です。現在の活動は、学生組織と学類等新歓団体との仲介や連携支援、新入生の宿舎入居支援の準備などで、2022年度秋の実現を目指して留学生新歓の支援も行いたいと考えています。

新入生歓迎特別委員会を含め今年度の新入生歓迎団体の多く

は、新型コロナウイルス感染症の流行によってコロナ禍以前のような盛大な新入生歓迎行事は行われなかった、2020年度以降入学の学生で構成されています。自分たちが体験することのなかった賑やかな新入生歓迎行事への憧れや、どうしようもない悔しさもなかったとはいえません。しかし、どの団体も新入生が明るい気持ちで筑波大学に入学できるように、工夫して新入生歓迎行事の準備計画を進めています。2022年度も感染症に留意しながらの新入生歓迎活動になりますが、新入生をはじめ筑波大学に関わる多くの人に希望の春が来るよう、新入生歓迎特別委員会も尽力してまいります。

(寄稿/全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
新入生歓迎特別委員長 三好真生・日日2年)

体育会活動紹介

準硬式野球部



秋季リーグ最終戦 2021年10月29日撮影

準硬式野球部は現在、3年生3名、2年生9名、1年生8名、マネージャー2名で活動しています。5名の体育専門学群生の他にも、様々な学類の部員が所属しています。

そもそも準硬式野球とは、中身が硬球(コルク、羊毛)、表面が軟球(ゴム)という特殊なボールを使って行う野球で、両方のボールの良さを存分に生かしたスポーツです。

私たちは、4~6月、9~11月に関東の大学で行われるリーグ戦に参加しています。2021年度の春季リーグでは、3部優勝・2部昇格を果たし、秋季リーグでは、レベルの上がった2部で、6チーム中3位という結果を残しました。

1・2年生中心の新体制で臨む2022年のリーグ戦では、前年の戦績を上回り、1部昇格を果たせるように励んでいきたいと思ひます。

(寄稿/準硬式野球部 石橋宗志・3類1年)

剣道部



寒稽古にて 2022年1月14日撮影

私たち体育会剣道部は、日本一を目標に部員一体となって日々の稽古に励んでおります。現在は男子65名、女子36名で活動しています。稽古は、月曜日から土曜日までの週6日間で約2時間程度行っています。また、今年度は行うことはできませんでしたが、土曜日は公開講座を行っており、地域の方々を対象に初心者から経験者まで様々な人に剣道を教え、交流しています。その他に、春季・夏季の強化合宿や寒稽古、朝稽古を行っています。

剣道部では競技力の向上は然ることながら、武道を行うものとしての礼儀を重んじ、人間的な成長も目指しています。稽古の様子としては、厳しさの中にも楽しさを見つけ、一人一人が課題をもって工夫しながら取り組んでいます。壁にぶつかったり、伸び悩んでいるときは教員の先生方を中心に的確なアドバイスで手を差し伸べ、指導してくれまます。

大会成績は第70回関東学生剣道優勝大会優勝、第47回関東女子学生剣道優勝大会優勝、第69回全日本学生剣道優勝大会第3位、第69回全日本学生剣道選手権大会個人優勝、第55回全日本女子学生剣道選手権大会個人第3位、第22回関東女子学生剣道新人戦大会優勝となりました。2022年度から開催される関東大会、全国大会で良い成績を収められるよう、これからも精進していきます。応援よろしくお願ひします。

(寄稿/剣道部主務 濱田和輝・体専3年)

女子バレーボール部



全日本大学選手権大会 2021年12月5日撮影

2021年度女子バレーボール部は、4年生3名、3年生4名、2年生5名、1年生3名の計15名で活動を行ってきました。「初志貫徹」という目標のもと、全員が「今、何をすべきか」と思考をめぐらせ、まさに「少数精鋭」で日々の部活動に励んできました。本部活動は、競技力の向上はもちろんのこと、社会に出ていく上で必要な考え方を学び、経験を積める環境であり、「人間力」を育くめるところが大きな特徴です。

2020年度も新型コロナウイルスの影響によって、思うように活動を行うことが出来ませんでした。沢山の方々支援によって大会を開催して頂き、秋季関東大学女子1部リーグ戦優勝、全日本大学選手権大会3位という結果を残すことが出来ました。来シーズンも日本一を目指す中で、自分自身やチームのメンバーと互いに真摯に向き合い、日々の活動を行っていききたいと思ひます。

(寄稿/女子バレーボール部主務 野津亜珠佳・体専3年)

合気道部

合気道部は現在、男子9名、女子11名の計20名で月曜日・水曜日・金曜日・土曜日の週4日活動しています。合気道は試合が存在しないという特徴を持つとても魅力的な武道です。他者と競うという概念がなく、技を磨くためにひたすら自己鍛錬に励むことを基本としています。部員には人文学類、日本語・日本文化学類、医療科学類、看護学類、化学類、生物資源学類などの様々な学類の人がいます。そして、大学で初めて合気道に出会った人もいれば、出身地域で合気道を習ってきてそのまま続けているという人もいます。このような様々な個性を持つ人達が互いに刺激を受け合いながら和気あいあいと活動しているところが合気道部の一番の魅力です。部員それぞれが積極的に技の上達に向けて練習を重ねており、昇級・昇段を目指しています。

2020年も新型コロナウイルスの影響を受けてしまい、活動に制限が生じる部員が出たり、合宿などの例年行われるはずの活動ができなくなったりしてしまいました。活動に制限が出てしまうことに対して残念な気持ちもありましたが、そのなかでも感染対策をしっかり行っており、できる限りの練習をすることが出来ました。2021年11月には第60回全国学生合気道演武大会に出場することが叶い、関係者の方々のお心遣いに応えなければならぬという気持ちでいっぱいになりました。新型コロナウイルスの感染拡大がいつ収束するのか心配な日々が続きますが、このような大変な状況下であっても練習が続けられることに感謝しながら、部員一同これからも研鑽に励んでまいります。

(寄稿/合気道部 山口涼花・日2年)

医学バレーボール部



コロナ禍前の関東医歯薬リーグ決勝リーグ 試合前の円陣の様子 2019年11月17日撮影

医学バレーボール部は医学群の学生を中心に、全学類の学生を含め活動しています。現在、男子部17人、女子部12人でチームを作っています。今年度は昨年11月から活動を再開し、平日2日間と土曜日に練習をしています。練習は基本的なことから、部内での試合まで様々なことを行っています。例年であれば東医体、医科リーグ、看護リーグ、医歯薬大会など年間5~6回ほど大会に出場し、その前には他大学との練習試合を行っていました。バレーボールはコミュニケーションがとても大切なスポーツです。そのため私たちは先輩後輩の垣根なく楽しみながらバレーボールをしています。現在は新型コロナウイルスの影響で対外試合は行えていませんが、試合ができるようになることを祈って、日々練習を頑張っていきたいと思ひます。

(寄稿/医学バレーボール部主将 前川結・医学3年)

医学硬式庭球部



コロナ禍前の東日本医科学学生総合体育大会2019年撮影

お世話になっております、医学硬式庭球部です。11月によく活動再開許可があり、それに伴って延期されていた1、2年生の入部も完了しました。現在医学硬式庭球部には男子32名、女子26名が在籍しています。シーズン中か、そうでないかで練習の頻度が変わりますが、基本的に男子部は月木土、女子部は月火土に活動しています。初心者と経験者でコートに分け、初心者は先輩が指導しています。また、向上心のある人は医専コートで自主練をして、きたる春から夏のシーズンに向けて日々技術の向上に励んでいます。コロナ禍が続いており先行きは未だ不透明ですが、新体制となった今、心持を新たにリーグ戦1部優勝、そして東日本医科学学生総合体育大会優勝にむけ精進して参りますので応援のほどよろしくお願ひします。

(寄稿/医学硬式庭球部主将 岡崎遼平・医学3年)

文サ連企画記事「和」

筑波大学には様々な団体がありますが、今回はその中でも和に関わりを持つ3団体をピックアップし、

- ① 活動を通してどのようなことにやりがいを感じますか
 - ② 池坊華道部は歌留多部に、歌留多部は茶道部和敬清寂社に、茶道部和敬清寂社は池坊華道部にどのようなイメージをもっていますか
 - ③ 面白かったエピソードを教えてください
- という質問をしました。

池坊華道部

- ① 難しい花器に挑戦し、苦戦しながらも生け終えた時にはとても達成感があります。また、先生や部員、華展を見に来てくださったお客さんなどに作品を褒めてもらえる嬉しく思います。
- ② 小学生の頃百人一首に夢中で小さな大会に出たこともあるため、勝手に身近に感じています。時々近くを通ると音が聞こえてきて、覗いてみたくなります。きっとハードな練習をされているんだろうなと想像しています。部員さんとの交流はないので、いつか話してみたいです。
- ③ エピソードではないのですが、他の部員の作品を見る時間が面白いです。長く一緒に活動しているとそれぞれの個性が見えてきます。「〇〇さんらしいね」「私にはこういう発想はなかったなあ」と言い合うと新たな発見もあり、勉強になります。(寄稿/池坊華道部部長 高梨菜央・医療3年)



お稽古で生けた作品(夏)

歌留多部

- ① 練習で培ったものが大会で発揮されて、試合に勝るととても楽しいです。また、大会は遠征が多いのでワクワク感もあります。
- ② とても和やかで上品な雰囲気の中、お茶をたてて、仲間とコミュニケーションをとることで親睦を深めているイメージがあります。
- ③ 今までで1番というわけではないですが、毎週3日ある普段の練習が毎回とても楽しいです。一日一日成長が実感できて嬉しさも湧いてきます。(寄稿/歌留多部部長 依田怜樹・体専2年)



普段の練習の様子

茶道部和敬清寂社

- ① 部員同士で教え合いながらお稽古を重ねて、お点前の一連の所作を滞りなくできるようになったときにやりがいを感じます。お茶と一緒にいただくお菓子も楽しみのひとつです。
- ② 同じ日本文化を学ぶ部活として勝手ながら親近感を覚えています。ですがお花を美しく生けるにはセンスが必要で難しそうなイメージがあります。
- ③ 年末に和室の大掃除をして部の棚を整理したら歴代の先輩方の使ったものや写真が色々出てきたのが歴史を感じられて楽しかったです。(寄稿/茶道部和敬清寂社部長 田村瑞希・社会2年)



主菓子「椿」